

希望が丘高等特支サッカー部に応援金 今月全国大会へ「力いっぱい戦って」 諫早



ライムイシモト

ヤベホーム

▲
応援金を贈った矢部社長（前列右から2人目）と石本社長（同3人目）を囲むサッカー部員
＝諫早市、希望が丘高等特別支援学校

諫早市の住宅建設業、ヤベホームと総合建設業、ライムイシモトは8日、第11回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権大会（24、25日、静岡県藤枝市）に出場する県立希望が丘高等特別支援学校サッカー部（15人）に応援金20万円を贈った。

両社は国連の持続可能な開発目標（SDGs）の理念に基づき、障害の有無にかかわらず、若い世代の夢への挑戦を後押ししようと寄付を決めた。

諫早市多良見町の同校で贈呈式があり、ヤベホーム

の矢部福徳社長とライムイシモトの石本潤治郎社長が、川波寿雄校長に応援金を手渡した。矢部社長は両社を代表して「大舞台で力いっぱい戦う力になれば幸い」と激励。山本隼人主将（18）は「多くの人に応援してもらい感謝している。精いっぱい戦いたい」と語った。応援金は遠征費などに充てる。

全国大会出場は4回目。地域予選を勝ち抜いた12チームがリーグ戦とトーナメント方式で頂点を目指す。

（高比良由紀）

おたんじょう おめでとう 敬称略